



株式会社 オプトラ

2024年12月期連結決算説明会

内容 2024年12月期連結概要と中期経営目標

2025年2月14日

□ 2024年12月期の連結業績概要

2024/12期は3Q発表時点に比較して、受注高が社内想定を上回り、売上高は計画線。営業利益は一時的な棚卸資産評価損などの影響により、計画に対して未達になりましたが、経常利益は持分法会社Fanfengの業績好調による持分利益の増加で概ね計画線となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は想定以上の実効税率軽減もあり、計画線を上回りました。1株当たり配当金(年間)は前年比2円増配の52円であり、自社株式取得は約253万株の約48億円。為替(期中平均)は151.87円/ドル。

□ 2025年12月期の連結業績予想

2025/12期の業績予想は売上高が前年比17%増の380億円、営業利益が同16%増の76億円、経常利益が同5%増の86億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同1%増の64億円、1株当たり配当金は同2円増配の54円の計画。受注高計画は未公表ながら、前年比を1割程度上回る想定です。為替前提は145円/ドル、21円/人民元。営業利益感応度は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円の影響。新型比率は受注高において4割(2024/12期35%)を超えることが目標です。

□ 中期経営目標と長期経営ビジョン

中期経営目標は2027/12期業績を売上高500億円、営業利益108億円(営業利益率21.6%)、経常利益118億円、親会社株主に帰属する当期純利益84億円、ROE12%の予想。1株当たり配当金(年間)は連結配当性向30%以上の計画。為替前提は145円/ドル、21円/人民元。売上高の内訳は、光学領域340億円(24/12期285億円)、非光学領域160億円(同39億円)の予想。長期経営ビジョンは新規ビジネスの創出により、2030/12期売上高800億円、営業利益率25.0%。

□ キャッシュ・アロケーション

当社は株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と戦略的な自己株式取得を想定。受注高および業績はスマートフォン向け光学薄膜装置の貢献度が高い。今後の新型装置は、生成AI搭載のスマートフォン用新機能関連、EV/コネクテッドカー向けカメラ・センサ及び車内表示デバイス関連等の受注高増加を予想。さらに、データセンター用光トランシーバ向けWDM(波長多重装置、CWDMおよびDWDM)関連の需要急増、空間コンピュータ向けAR・VR関連の離陸が期待されます。

□ 将来の見通しについて

本資料には、「将来の見通しに関する記述」が含まれています。この記述には、当社の事業と市場における予想される成長と傾向、業界の見通しと需要要因、当社の投資と成長戦略、新製品と新技術の開発、現在および今後の事業見通しに関するものが含まれます。今後、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、予想・計画見通しと大きく異なる可能性があります。更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

□ 為替リスクについて

当社の主力製品である製造装置の輸出売上高は、米ドル建ての依存度が高いことから、米ドルの為替変動の影響を受けます。製造原価は、中華圏生産の依存度が高いことから、中国元の変動影響を受けます。業績見通しの為替前提は、過去の実績を踏まえて想定し、為替変動影響の軽減を目指しています。輸出先は中華圏の依存度が高いものの、最終需要先は世界的に広がっています。デカップリング時代に備えて、生産・開発体制として日本、中華圏、ベトナム、インドなどでの拠点拡充を計画しています。

□ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針として、中期経営目標において「営業利益率20%以上」、「ROE（自己資本利益率）10%以上」、「連結配当性向30%以上」、などを定めています。キャッシュ・アロケーションとして、株主価値の向上にむけて、安定配当と機動的な自己株式取得を行う想定にしております。加えて、持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資やM&A・事業提携などを戦略的に実施することも計画しています。

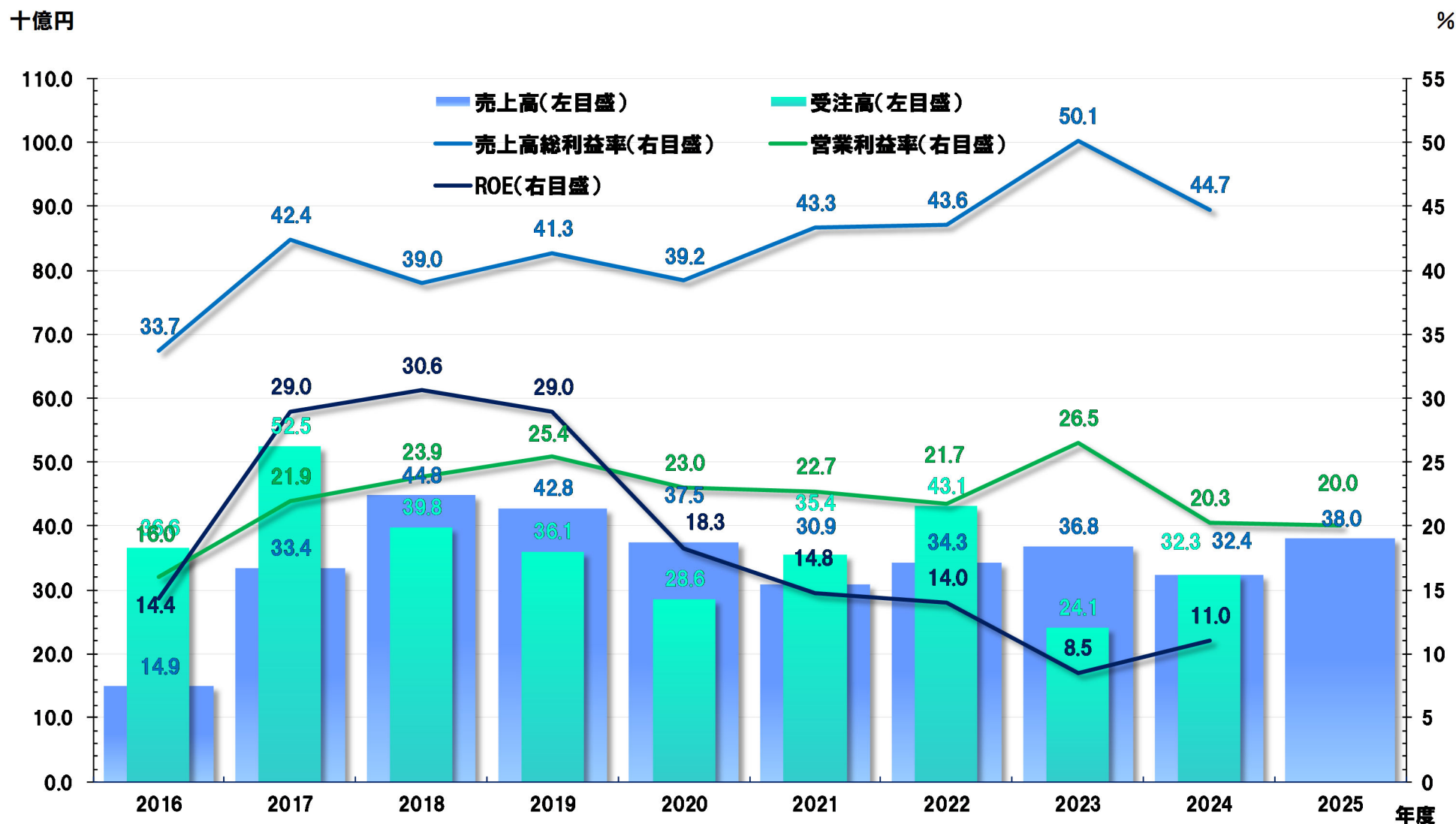
□ 問い合わせ先

問い合わせ先は、E-mail: ir-info@optorun.co.jp

Webサイト: <https://www.optorun.co.jp>

I. 受注高、売上高及び収益性・収益力指標の推移

図表1: 受注高、売上高及び収益性・収益力指標



注: 2025/12期の為替前提は145円/¥、21.0円/人民元。営業利益感応度(年換算)は1円/¥の円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円

受注高および業績実績とガイダンス



図表2: 受注高、業績及び1株当たり指標・財務指標(単位: 百万円、円、%、日)

項目	決算期		前年比	2025/12E	前年比	2023/12				2024/12				前年比
	2023/12	2024/12				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
受注高	24,080	32,345	34.3			9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	9,716	135.1
受注残高	24,219	24,159	-0.3			37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	24,159	-0.3
売上高	36,807	32,406	-12.0	38,000	17.3	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	7,217	-8.3
売上総利益	18,454	14,499	-21.4			4,578	5,954	4,317	3,605	5,917	2,168	4,094	2,319	-35.7
研究開発費	4,329	3,397	-21.5	3,500	3.0	1,002	1,014	1,128	1,185	908	1,029	657	803	-32.2
営業利益	9,752	6,570	-32.6	7,600	15.7	2,614	4,049	1,905	1,184	3,965	-23	2,377	251	-78.8
営業外収益	386	1,996	417.2			103	497	174	-388	462	331	-114	1,318	-
営業外費用	4,086	376	-90.8			902	2,097	1,007	80	102	216	-286	344	329.8
経常利益	6,051	8,191	35.4	8,600	5.0	1,815	2,449	1,071	716	4,325	92	2,549	1,225	71.0
税前利益	5,998	8,185	36.5			1,815	2,449	1,071	663	4,321	92	2,547	1,225	84.8
法人税等	1,325	1,807	36.4			414	348	399	163	1,030	165	251	361	120.8
当期純利益	4,632	6,351	37.1	6,400	0.8	1,403	2,068	628	533	3,284	-110	2,267	911	70.9
1株当たり当期純利益	106.1	145.3	36.9	146.7	0.93	32.2	47.4	14.4	12.1	75.0	-2.6	51.5	21.5	77.4
1株当たり配当金	50.0	52.0	4.0	54.0	3.85	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	26.0	0.0	26.0	-48.0
1株当たり純資産	1,285.3	1,403.3	9.2			1,194.4	1,267.0	1,302.8	1,285.3	1,343.9	1,388.5	1,347.0	1,403.3	9.2
為替(期末): 円/ドル	141.83	158.18	-16.4	145.00	13.2	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18	6.9
為替(期中平均): 円/ドル	137.97	148.12		145.00		134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	151.87	-8.5
受注高/売上高	0.65	1.00	0.34			1.06	0.51	0.54	0.52	0.99	1.36	0.49	1.35	0.82
売上高総利益率	50.1	44.7	-5.4			50.5	50.2	53.9	45.8	52.4	40.3	48.1	32.1	-13.7
売上高研究開発費率	11.8	10.5	-1.3	9.2	-1.3	11.1	8.5	14.1	15.0	8.0	19.1	7.7	11.1	-3.9
売上高営業利益率	26.5	20.3	-6.2	20.0	-0.3	28.8	34.1	23.8	15.0	35.1	-0.4	27.9	3.5	-11.6
売上高経常利益率	16.4	25.3	8.8	22.6	-2.6	20.0	20.6	13.4	9.1	38.3	1.7	29.9	17.0	7.9
法人税率	22.1	22.1	-0.0			22.8	14.2	37.2	24.7	23.8	179.3	9.9	29.5	4.8
売上高当期純利益率	12.6	19.6	7.0	16.8	-2.8	15.5	17.4	7.8	6.8	29.1	-2.1	26.6	12.6	5.9
棚卸資産回転日数	357.7	321.3	-36.5			462.4	333.5	493.4	384.5	275.0	530.5	347.1	293.7	-90.9
自己資本利益率	8.5	11.0	2.5			11.4	15.7	4.6	3.9	23.7	-0.8	15.6	6.3	2.4

注: 会計は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入で算出、当期純利益は親会社株主に帰属する数値、利益率の前年比%欄は前年比増減

貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書



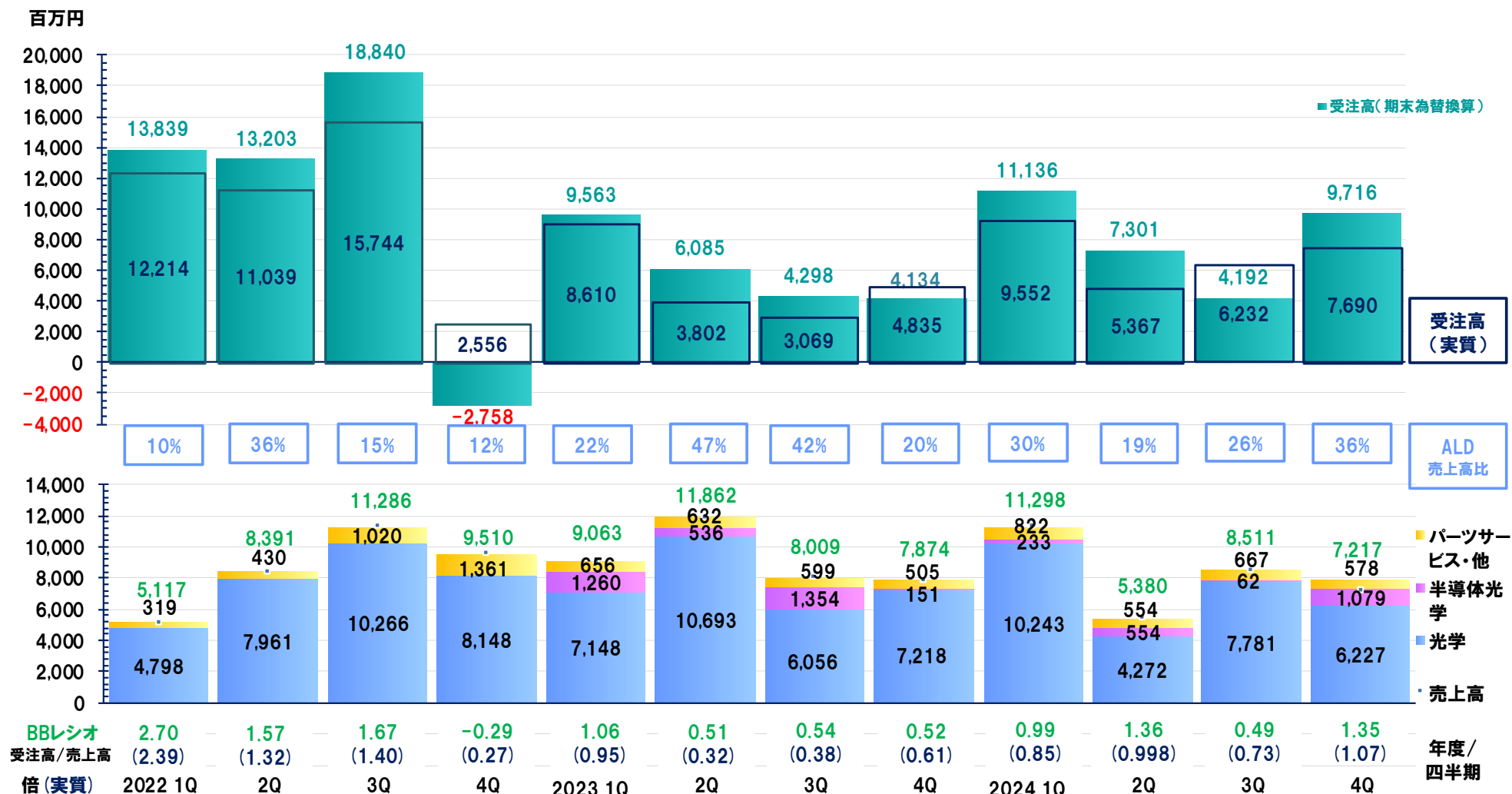
図表3: 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)

項目	決算期末	2023/12	2024/12	構成比	1Q	2023/12			1Q	2024/12		
						2Q	3Q	4Q		2Q	3Q	4Q
資産の部												
現金及び預金		33,054	32,531	39.9	33,926	33,421	33,937	33,054	33,329	32,193	30,967	32,531
受取手形・売掛金(貸倒引当金含む)		4,882	4,355	5.3	6,788	6,634	6,222	4,882	3,206	4,353	4,518	4,355
棚卸資産		17,989	15,763	19.4	22,731	21,595	19,962	17,989	16,213	18,670	16,804	15,763
流動資産		57,632	54,572	67.0	66,129	64,101	62,162	57,632	55,184	57,372	54,410	54,572
有形固定資産		11,407	14,152	17.4	9,572	9,780	11,295	11,407	11,874	13,450	13,300	14,152
無形固定資産		424	210	0.3	516	524	655	424	381	339	259	210
投資その他の資産		9,029	12,505	15.4	8,561	9,187	9,569	9,029	9,521	10,322	9,321	12,505
固定資産		20,859	26,868	33.0	18,648	19,491	21,519	20,859	21,775	24,111	22,879	26,868
資産合計		78,491	81,440	100.0	84,777	83,592	83,680	78,491	76,959	81,482	77,289	81,440
負債の部												
支払手形・買掛金		1,284	1,083	1.3	4,672	2,029	1,023	1,284	2,326	1,848	1,657	1,083
短期有利子負債(リース債務含む)		403	414	0.5	410.2	406.6	404.2	403.1	403	402	402	414
契約負債(従来、前受金と表記)		14,743	9,731	11.9	20,946	17,211	16,381	14,743	9,441	10,841	9,308	9,731
流動負債		19,097	14,766	18.1	30,169	25,221	23,051	19,097	14,812	16,895	14,630	14,766
繰延税金負債		2,021	2,625	3.2	2,177	2,112	2,586	2,021	2,174	2,385	2,239	2,625
長期有利子負債(リース債務含む)		8	4,649	5.7	5	5	7	8	8	6	5	4,649
固定負債		2,478	7,672	9.4	2,610	2,556	3,032	2,478	2,637	2,777	2,637	7,672
純資産		56,916	59,002	72.4	51,981	55,306	56,891	56,916	58,881	61,810	60,022	59,002
株主資本		56,315	58,688	72.1	51,981	55,306	56,891	56,916	58,881	61,114	59,339	58,688
連結キャッシュ・フロー												
				売上高比		上期		下期		上期		下期
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,180	5,050	15.6	-	495	-	2,685	-	1,353	-	3,697
有形固定資産取得による支出		-3,116	-3,115	-9.6	-	-541	-	-2,575	-	-1,505	-	-1,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		-3,599	-7,701	-23.8	-	-959	-	-2,640	-	-1,618	-	-6,083
フリーキャッシュ・フロー		-419	-2,651	-8.2	-	-464	-	45	-	-265	-	-2,386
自己株式取得による支出		-0	-4,794	-14.8	-	0	-	-0	-	0	-	-4,794
配当金支払額		-2,174	-3,334	-10.3	-	-2,173	-	-1	-	-2,190	-	-1,144
財務活動によるキャッシュ・フロー		-2,207	-2,207	-6.8	-	-1,916	-	-291	-	-2,168	-	-39

注: 数値は百万円以下を四捨五入で算出、受取手形・売掛金は貸倒引当金を考慮、有利子負債は借入金とリース債務の合計

四半期ベースの受注高と売上高の相関関係

図表4: 四半期ベースの受注高、事業領域別売上高とBBレシオ



注: 売上高の光学領域はAIスマホ、EV/コネクテッドカー、光学部品、半導体光学融合領域は光電子、イメージセンサー、空間コンピュータ、電子デバイス領域はグリーンエネルギー、通信デバイス、MEMSデバイスを含む、図表の半導体光学は半導体光学融合領域と電子デバイス領域の合計、パーツサービス・他は主に消耗品
BBレシオの()内は為替換算調整前の実質ベース

事業領域別受注高および売上高の詳細



図表5: 事業領域別受注高及び売上高(単位: 百万円、円/ドル、%)

項目	年度・四半期	2023	2024	前年比	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	前四半期比	前年比
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
受注高														
光学領域		15,973	22,753	42.4	7,386	2,214	2,415	3,958	7,952	3,783	5,056	5,962	17.9	50.6
AIスマートフォン		8,305	8,558	3.0	5,053	550	845	1,857	5,487	944	1,896	231	-87.8	-87.6
EV/コネクテッドカー		3,274	5,939	81.4	846	421	544	1,463	1,299	1,452	1,022	2,166	112.0	48.0
光学部品		4,393	8,256	87.9	1,486	1,243	1,026	638	1,165	1,386	2,139	3,566	66.7	458.6
半導体光学融合・電子デバイス領域		1,826	2,785	52.5	455	948	52	371	615	141	950	1,079	13.5	190.7
パーツサービス・他		2,518	3,304	31.2	770	641	602	505	985	1,444	225	649	188.1	28.4
受注高小計		20,316	29,234	43.9	8,610	3,802	3,069	4,835	9,552	5,368	6,232	7,690	23.4	59.1
為替影響		3,764	3,504	-6.9	953	2,283	1,229	-701	1,584	1,933	-2,040	2,026	-	-
受注高合計		24,080	32,345	34.3	9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	9,716	131.8	135.0
ALD装置比率 (%)		7%	9%	2%	6%	0%	7%	16%	24%	4%	0%	3%	3%	-13%
新型装置比率 (%)		23%	38%	16%	11%	29%	22%	39%	40%	28%	31%	51%	19%	11%
受注残高		24,219	24,159	-0.3	37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	24,159	-16.6	-0.3
売上高														
光学領域		31,116	28,523	-8.3	7,148	10,694	6,056	7,218	10,243	4,272	7,781	6,227	-20.0	-13.7
AIスマートフォン		20,489	18,549	-9.5	3,690	8,317	3,996	4,486	7,686	1,916	5,289	3,658	-30.8	-18.5
EV/コネクテッドカー		3,069	4,917	60.2	1,392	391	431	854	1,174	1,582	1,273	889	-30.2	4.0
光学部品		7,558	5,056	-33.1	2,066	1,986	1,629	1,877	1,383	774	1,219	1,681	37.8	-10.5
半導体光学融合・電子デバイス領域		3,300	1,261	-61.8	1,260	536	1,354	151	233	554	63	411	548.6	172.9
パーツサービス・他		2,391	2,622	9.6	655	632	599	505	822	554	667	578	-13.3	14.5
売上高合計		36,807	32,406	-12.0	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	7,217	-15.2	-8.3
ALD装置比率 (%)		34%	29%	-6%	22%	47%	42%	20%	30%	19%	26%	36%	7%	16%
新型装置比率 (%)		44%	42%	-3%	37%	53%	52%	32%	36%	32%	41%	59%	18%	27%
売上高総利益率 (%)		50.1%	44.7%	-5.4%	50.5%	50.2%	53.9%	45.8%	52.4%	40.3%	48.1%	32.1%	-16.0%	-13.7%
売上高営業利益率 (%)		26.5%	20.3%	-6.2%	28.8%	34.1%	23.8%	15.0%	35.1%	-0.4%	27.9%	3.5%	-24.4%	-11.6%
売上高経常利益率 (%)		16.4%	25.3%	8.8%	20.0%	20.6%	13.4%	9.1%	38.3%	1.7%	29.9%	17.0%	-13.0%	7.9%
売上高当期純利益率 (%)		12.6%	19.6%	7.0%	15.5%	17.4%	7.8%	6.8%	29.1%	-2.1%	26.6%	12.6%	-14.0%	5.9%
為替														
円/ドル(受注高の期末換算レート)		141.83	158.18	-16.35	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18	18.34	6.85
円/ドル(売上高の期中平均計上レート)		137.97	148.12	-10.15	134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	151.87	-2.14	-8.52

注: 受注高のALD比率、新型比率は為替影響を除くベース、為替、利益率、比率の前四半期比及び前年比の欄は増減

□ 2024/12期4Qの受注高は為替影響を除くベースで前年比59%増と回復

受注高(為替影響を除く)において、光学領域は前年比51%増と成長し、半導体光学融合・電子デバイス領域は同191%増と高成長を遂げた。光学領域では、AIスマートフォンが需要減少で低迷したが、EV/コネクテッドカーがディスプレイ関連の貢献で同48%増と成長し、光学部品がミラーレスカメラ関連の牽引により同5.6倍と飛躍した。主要製品において、ALD装置構成比は前年比▲13%ptsの3%と低下したが、新型装置は同+11%ptsの51%に上昇した。

□ 2024/12期4Qは営業利益が前年比79%減ながら、経常利益は同71%増と補完

売上高総利益率は収益性が高いALD装置の貢献(ALD比率は前年比+16%ptsの36%に上昇)があったが、一時的な棚卸資産評価損等の影響で、前年比▲13.7%ptsの32.1%に低下した。営業利益は前年比79%減ながら、持分法会社Fanfengの持分利益が増加により、経常利益は同71%増と補完した。Fanfengは真空部品を製造する企業だが、米国太陽電池メーカー向け関連需要増で業績が大幅に改善。1株当たり配当金(年間)は前年比2円増配の52円であり、自社株式取得は約253万株の約48億円。

□ 孫会社の光馳半導体技術を資本増強

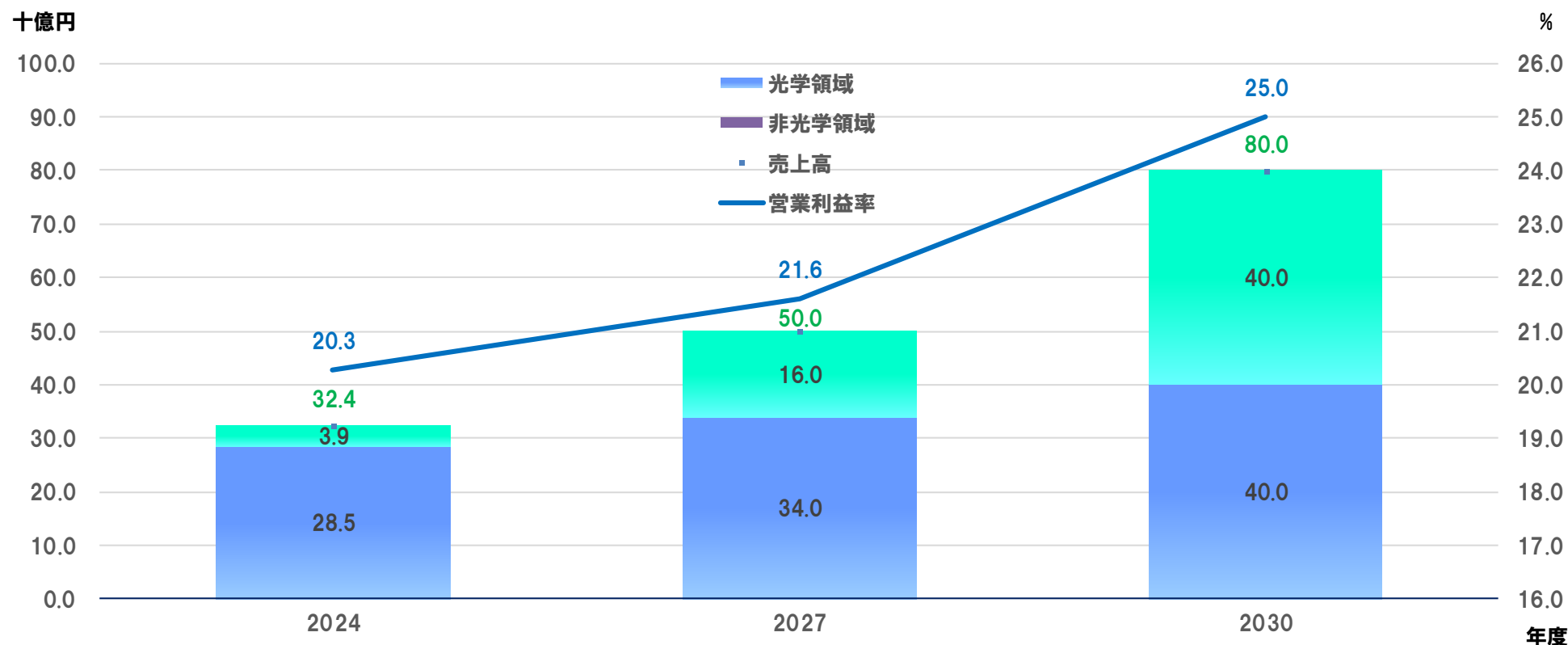
2024年10月に当社孫会社である光馳半導体技術有限公司によるQuzhou Lingben Juguang Equity Investment Fundを割当先として、2億元(約40億円(20.46円/人民元))の第三者割当増資を実施しました。当該増資は、中国市場での装置需要開拓や新規顧客開拓を加速させるとともに、研究開発強化・生産能力増強等の設備投資へ充当する予定。この影響として、現金・預金が増加する一方、長期有利子負債が同等額が増加している。

□ 2025/12期受注高および業績はALD装置の貢献度が低下するが、新型装置が上昇へ、資本業務提携を締結

新型装置比率は受注高では2024/12期35%から25/12期には4割を超え、売上高では2024/12期42%から2025/12期には若干上昇すると予想。2025/12期持分利益は2024/12期と同水準を想定。1株当たり配当金(年間)は前年比2円増配の54円の予定。AIメカテックと資本業務提携を結び、合併会社であるナノリソティックス(出資比率58.8%)における空間コンピュータ(AR・VR)事業軌道化させることに加えて、新規事業分野の開拓をする計画。

II. 中期経営目標と長期経営ビジョン

図表6: 中期経営目標と長期経営ビジョン



□ 中期経営目標の骨子

- ・ 2027/12期は売上高500億円、営業利益率20%超、ROE(自己資本利益率)10%超、非光学領域の売上高構成比30%強
- ・ 株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的・戦略的な自己株式取得を検討する
- ・ 持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資やM&A・事業提携などを戦略的に実施する

□ 長期経営ビジョン

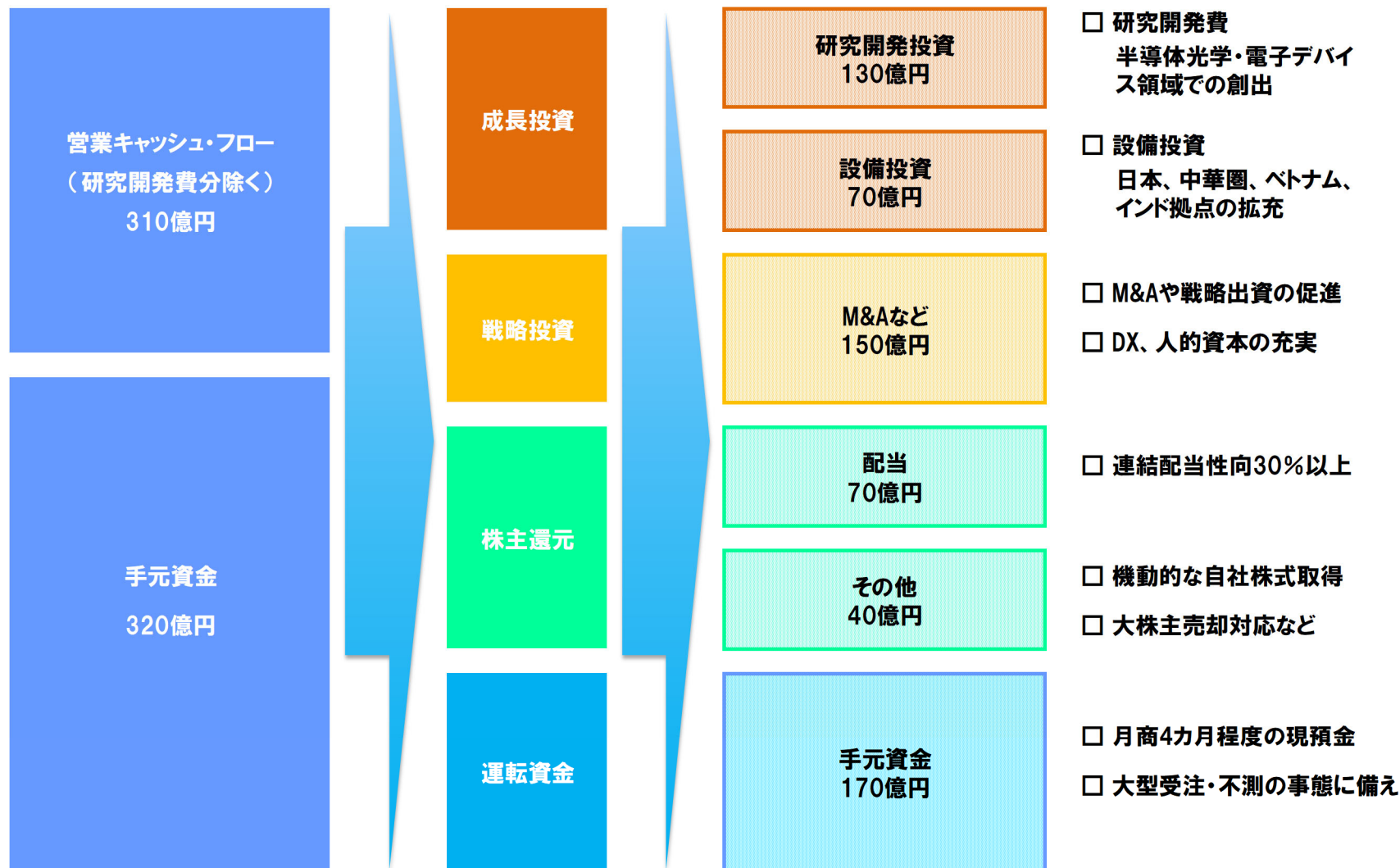
- ・ 新規ビジネスの創出により、2030/12期目標は売上高800億円、営業利益率25%、非光学領域の売上高構成比約50%

キャッシュ・アロケーションは研究開発、戦略投資、M&A及び株主還元を重視

図表7:キャッシュ・アロケーション(3年間累計)

キャッシュ・イン

キャッシュ・アウト



注:日本拠点は鶴ヶ島工場の充実に加え、川越工場の再構築、中華圏では光馳半導体の工場拡張、インド拠点の始動を想定

図表8:設備投資・減価償却費・研究開発費

日本本社 鶴ヶ島



半導体技術 上海



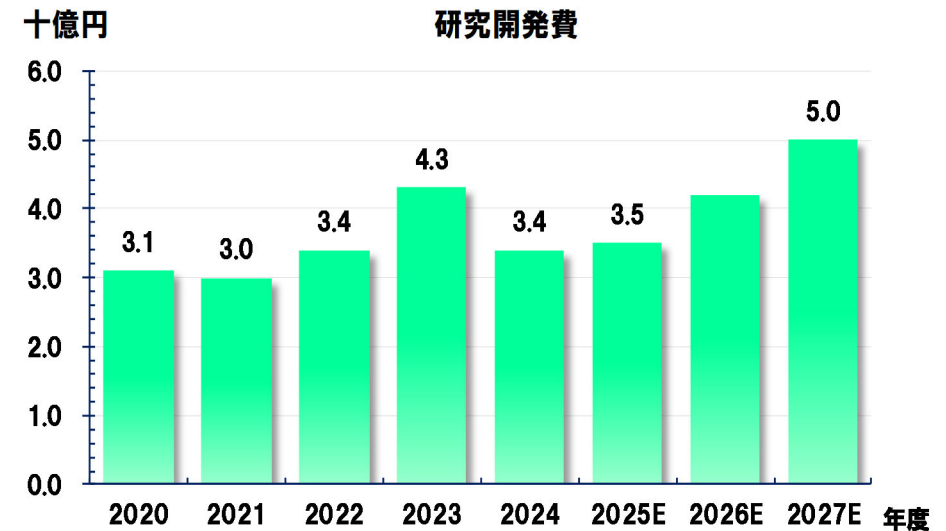
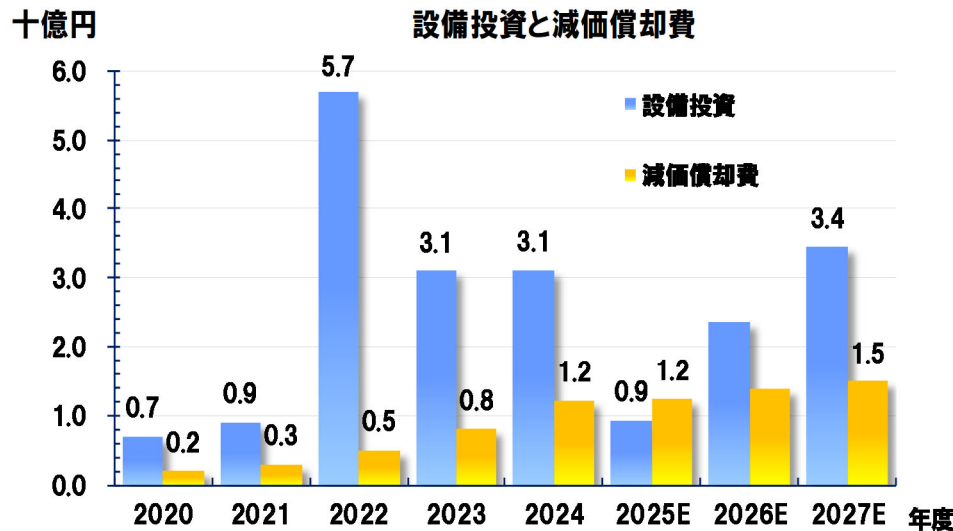
ベトナム ハノイ近郊



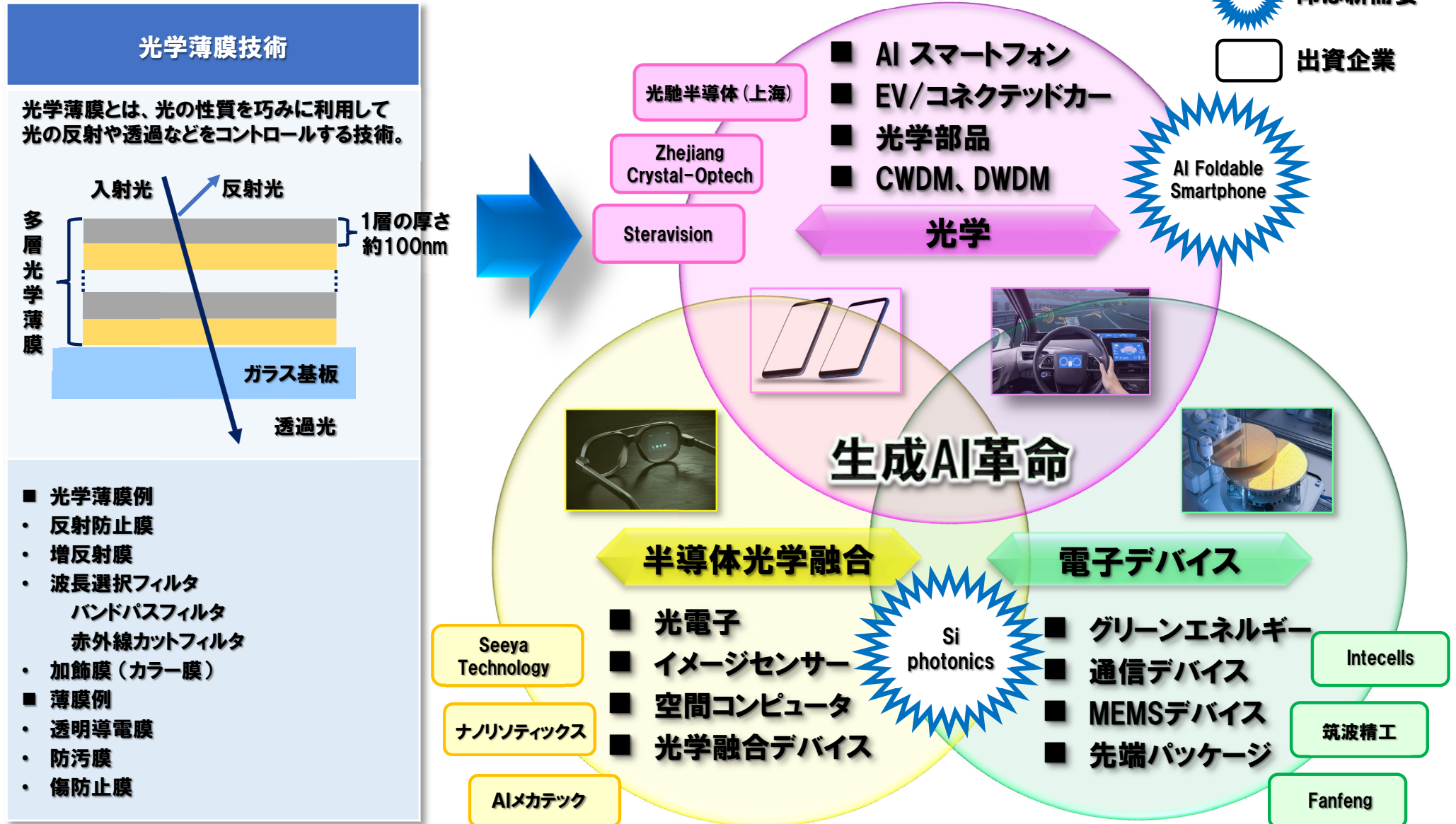
- 半導体光学・電子デバイス等、先端分野研究開発拠点、2024年4月に稼働。隣接する川越工場の再構築を検討中。

- ALD装置等の新技術装置の生産・研究開発拠点、2024年1月に稼働。光馳半導体の新工場を中期的に建設へ。

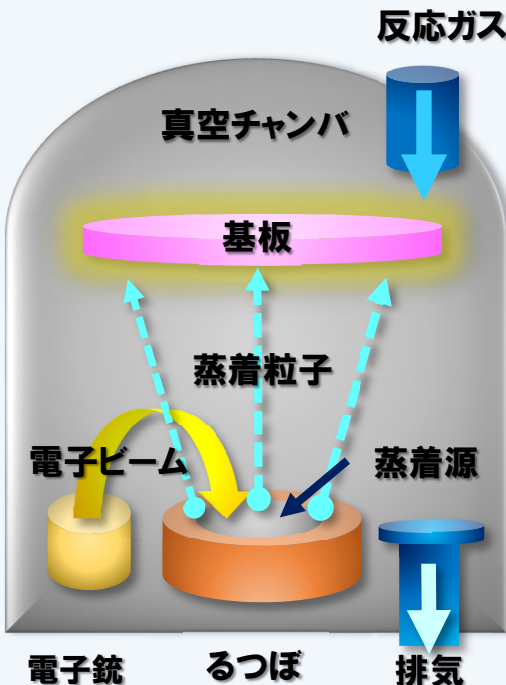
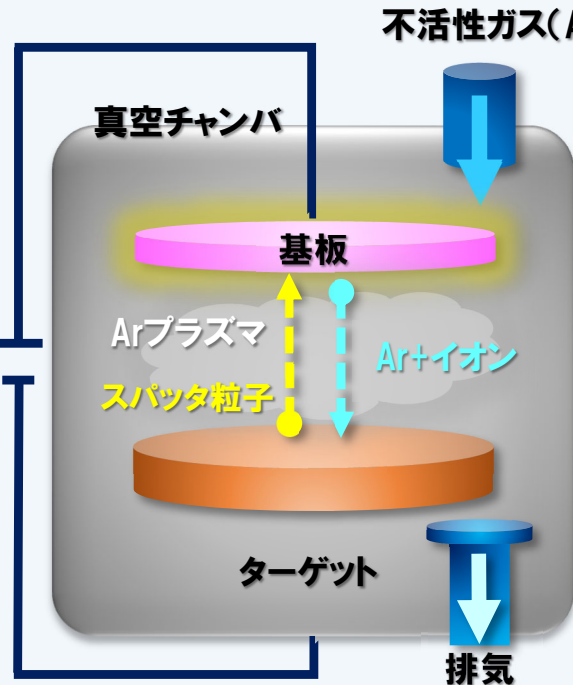
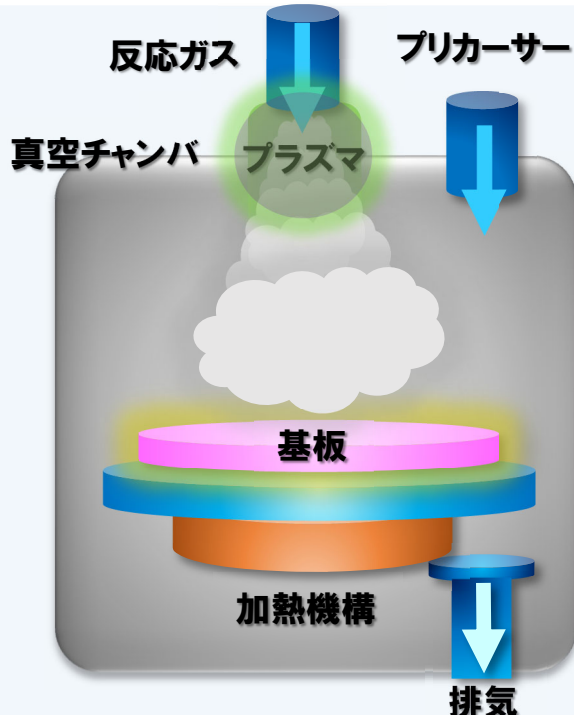
- 装置設計・東南アジアの顧客への装置据付・保守修理、部品加工販売 2023年12月に稼働。今後拡充を検討。



図表9: 光学薄膜技術、事業領域と出資企業

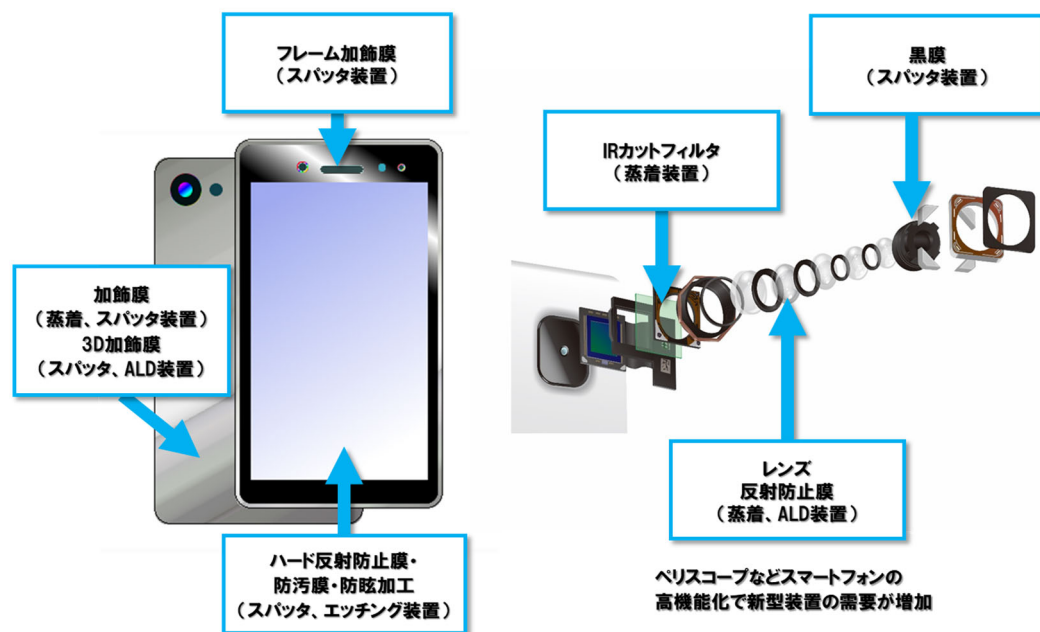


図表10:光学薄膜装置と仕組み

蒸着装置	スパッタリング装置	ALD(原子層堆積)装置
		
真空中で蒸着材料を熱して蒸発また昇華させ、基板表面に付着させることで薄膜を形成させる装置。風呂場に材料をいれ、真空加熱する様なもの。	真空蒸着における熱の代わりに、ガス分子を薄膜材料にぶつけて薄膜を形成させる装置。スパッタリングの身近な例は古くなった蛍光灯は端が黒い。	原子層レベルで膜厚を制御して平坦で緻密な薄膜を形成する装置。平面基板からアスペクト比(縦横比)の高い立体構造物まで均一に成膜できる。

光学薄膜技術と対応アプリケーション

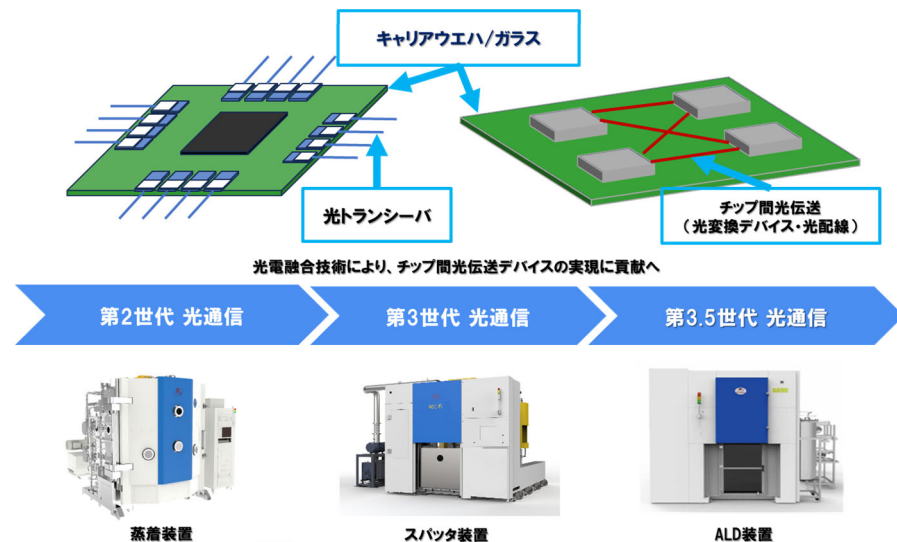
図表11: AIスマートフォン向け光学薄膜装置



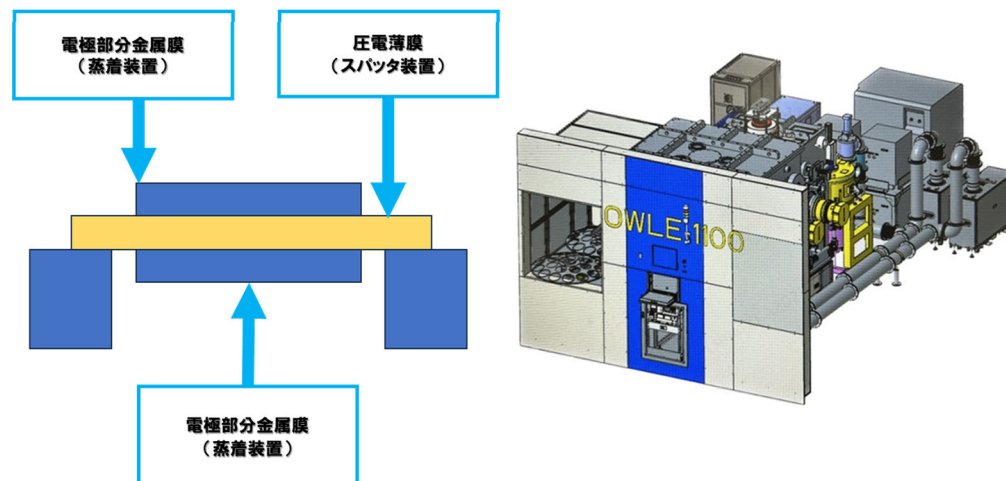
空間コンピュータ向け半導体光学融合装置



光電融合デバイス向け半導体光学融合装置



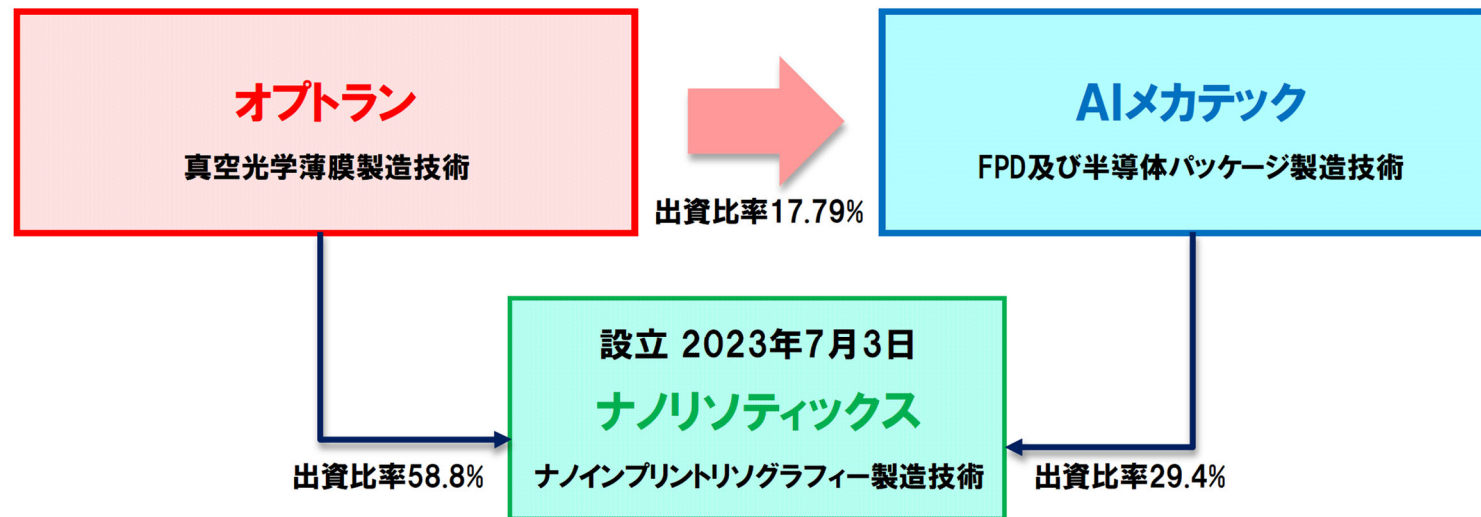
BAWフィルタ(バルク表面波フィルタ)向け電子デバイス装置



注: BAWフィルタとは、Bulk Acoustic Wave Filter の略称で、2GHz以上を使う移動体通信システムで必要不可欠であり、SAW(Surface Acoustic Wave: 弾性表面波)フィルタは800MHz~2GHzで使用される

図表12: AIメカテックとの資本業務提携

資本業務提携 2025年2月14日



注: ナノリソティックスの表記以外の出資比率はJSR11.8%、オプトランのAIメカテックに対する議決権割合は17.82%

□ 資本業務提携の概要

1. ナノインプリントリソグラフィー事業の強化
 - ・ リソースの共有等による営業・開発体制の強化を通じた、ナノリソティックスにおける合併事業の拡大
2. 技術力の相互補完による協業
 - ・ 両社が有する技術力の相互支援による製品及び事業の強化
3. 技術力の相乗化による協業
 - ・ 両社が有する技術領域や業界情報の共有による新たな事業領域の創出
4. 協業機能の拡大
 - ・ 販売網の相互活用などへの協業範囲拡大

会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績

図表13: 会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績(売上高と営業利益率)

